

Imagine まちの未来

～生まれ変わるJR守山駅東口、一体どうなる～

JR守山駅(以下、守山駅)周辺は、本市の玄関口として、多様な都市機能の集積や文化・交流・にぎわいの核となる中心拠点の形成が求められています。

そうした中、守山駅東口において、令和8年5月に予定されている株式会社村田製作所の研究開発拠点施設「守山イノベーションセンター」の竣工により、守山駅東口周辺が大きく変化する見込みです。市では、この動きを契機として、守山駅東口の低未利用地を活用した新たな都市機能の集積や東口ロータリーの再編などを実施し、守山駅東口の再整備を図ることを検討しています。

今年度末の策定に向けて取り組んでいる「守山駅東口再整備基本計画」の内容を含め、現在検討中の守山駅東口再整備に関する情報を複数回に分けて、定期的に掲載しています。

第4回：導入を検討する機能

連載内容(予定を含む)

守山駅東口再整備に関する定期連載の内容は、以下のとおりです。

第1回(8月15日号)	JR守山駅東口の現状
第2回(9月15日号)	JR守山駅東口が抱える課題
第3回(10月15日号)	コンセプトおよびビジョン
第5回(12月15日号)	ゾーニングとイメージパース

国土都市計画・交通政策課

☎(582)1132 FAX(582)6947

これまでに整理したまちづくりのコンセプトおよびビジョンの実現に向けて、再整備を図る守山駅東口に導入していきたい機能を以下の通りに検討しています。

コンセプト

人が集まりつながる憩いとにぎわいのあるまち

ビジョン①

落ち着きとにぎわいが共存するまちづくり

ビジョン②

働く場・働く人を応援するまちづくり

ビジョン③

子どもから大人まで多世代が集まりつながるまちづくり

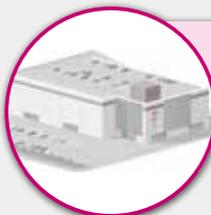
ビジョン④

安全で利用しやすい交通環境の実現によるまちづくり

ビジョン⑤

快適な東西移動とアクセス性が高いまちづくり

導入を検討する機能



機能①

複合商業機能

現在の東口の落ち着いた雰囲気を維持しながらも、人が集まり地域が活性化し、にぎわいが生まれる複合商業機能を導入します。



機能②

ワークプレイス機能

株式会社村田製作所(守山イノベーションセンター)などの相乗効果を生み出し、行政や地域と連携し、ともに成長できるワークプレイス機能を導入します。



機能③

広場(憩い・交流)機能

多くの人々が「集まり・出会い・交流」できる空間として、多様な憩いやにぎわいが生まれる広場を導入します。



機能④

交通結節機能

現在の交通結節機能(ロータリーおよび駐車場、駐輪場、周辺道路)のあり方を見直し、誰もが利用しやすい、安全で快適な交通結節機能を導入します。



機能⑤

東西アクセス機能

線路をまたぐ東西の移動空間の強化を図る方策や東口エリア内のアクセス強化を図る方策などを検討し、快適に移動できる東西アクセス機能を導入します。